「りゅうま伝」は高野の分身がお客様のところへご挨拶に伺う。という氣持ちでお届けしています。

りゅうま伝

14号
2021年1月26日
高野竜馬

「今年の重大目標」

一月三日は昼に箱根駅伝復路残り3キロでの逆転劇に涙し、夕方は高校サッカー東福岡の3k負けに涙するも、夜には「他人様の人生に泣いとる場合ではない！お前が人を感動させる人生を送らんかっ！」と氣づいて、今年も108個の目標を書きあげた高野です。

「今年のやること100個」、かれこれ10年くらいやっているでしょうか。但し達成率は例年3割程度。2020年は110個の目標に対して出来たのは41個。打率3割7分3厘と例年並みでした。

当初は打率が低いと恰好悪いし、「セルフイメージが下がるではないか！」と思っていましたがあるのだと教えてもらって納得しました。

筆が止ったところから出てくる目標には氣づきが多いというのです。

実際にやってみると確かに「俺ってこんなこと考えてたんだ！」ってのが出てきます。

今年浮かんだ面白い目標は「失敗した時の証拠写真を12枚撮る」です。

口では私もよく「失敗を恐れず」なんて言うものの防衛本能は働きます。また失敗したらしたで、出来ることなら隠しておきたい。私はそんな小さな男でした。(笑)

そんな時、知人のエピソードを聞いて考えが変わったことがあります。

それは昔、知人がセミナー集客に失敗した際、空っぽの会議室の中で一人Vサインして記念撮影している写真を見たのです。

その理由を尋ねると「将来成功した時のネタになるでしょ」の一言。

失敗したら人に笑われるから嫌だなぁって心理が強かった私も色々と学ぶにつれ、それは過剰な自意識がそうさせているだけで、他人は私の失敗に無関心、笑われても一時的なものと思えるようになってきました。

という訳で今年の重大目標は「失敗した時の証拠写真に枚撮る」です。12枚も撮るとなれば積極的に動かざるを得ませんし、失敗を受け入れる覚悟も必要になってきますから、我ながら良い目標が出来たなぁと二ンマリです。

また去年のリストを見直すと、これを忘れたのはマズかったと思う目標が8つもありました。

それら未達の目標には熱量が少ないことに氣づかされます。感情と強く結びついたもの、例えば「自らの誕生会を開く」などは、家族の八夕迷惑な顔を氣にせず、チャカリ実施しているのですから、大事なのは心持ちであるようです。

それらを足して今年は108個の「やることリスト」に挑戦して参ります。こんな私でありますが、本年もどうかよろしくお願い申し上げます。

感謝之印

たかの財形事務所
〒819-0374 福岡市西区千里707-13
090-3407-2123
https://www.takanozaikei.com メール fp.takano@gmail.com

いつも応援してくれて有難うございます。